

QSK 福精連

公益社団法人福岡県精神保健福祉会連合会
〒812-0046
福岡県福岡市博多区吉塚本町13-50
電話092-292-0560 FAX092-292-0561
e-mail: fksr1974@fukuseiren.com
ホームページ http://www.fukuseiren.com/
No. 104 令和3年1月1日

新年挨拶



公益社団法人
福岡県精神保健福祉会連合会
会長 一本 猛



あけましておめでとうございます。
昨年は新型コロナウイルスの流行が先端となり、仕事の仕方や業務形態に大変なご苦労を掛けましたが、皆さんの多大なる協力を得ることができ、無事に新しい年を迎える事が出来ました。
さらにまだまだ完全なる終息が見えない中、日本のみならず世界を取り巻く経済環境にも大きな打撃は避けられず、コロナ前の水準まで経済活動が回復するのは2、3年かかるだろうと言われています。
この災禍の中、昨年8月に特定相談、訪問型生活訓練の事業所「よからば」を竹下開設する事ができました。メリテン版家族支援を取り入れ、ご本人、ご家族が自分らしく生活できるようサポート致します。開所したばかりで、利用者の受け入れには余裕がありません。皆様のお力添えで「よからば」のご紹介をして頂くと大変助かります。
私共、精神障がい者を取り巻く環境は、特に三障がい者同一の福祉サービスの観点ではまだまだ道遠い印象が拭えません。
今後の活動の重要課題は医療費助成制度の改善です。先進的な都道府県に近づけるよう取り組んで参りたいと存じます。
また、JRや高速料金についても引続き三障がい同一のサービスが受けられるよう取組んで参ります。
これからのご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。



【1月22日の研修会】
中止と致します

【2月19日の研修会】

オンライン（ズーム）で行います。ただ、福精連としてオンライン研修会は初めての試みとなりますので、至らない点もあるかと思いますが是非ご参加下さい。
内容としては、「報酬改定について」です。詳細が決まり次第ご連絡致します。

12月3日～9日は障害者週間
12/7-8県庁内でまごころ販売会が開催されました。ほのぼのHaKaTa、ステップアップ、みらいが出店しました。



(敬称略・順不同)



【令和2年度表彰者】

10月31日福精連大会にて左記の方々に授与されました。

- ・藤 みよ子 (アトリエのぞみ)
- ・大 園 治 (社福) はまゆう福祉会
- ・塚本 良明 (ともしび会)
- ・福岡県地域精神保健協議会表彰
- ・菅野 康子 (しののめ福祉会)
- ・立山 利博 (なおみの会)
- ・福田 清隆 (ワンハート陽だまり)
- ・(社福) はまゆう福祉会 はまゆうサポートセンター
- ・大瀬 和子 (五筑会)
- ・大野 葵 (みどりの会)
- ・福田 清隆 (ワンハート陽だまり)
- ・勝山 一美 (NPO法人あゆみの会)
- ・山口 隆充 (八女作業所)
- ・(社福) 風 アトリエのぞみ

家族のための相談電話



【相談時間】13時～16時

- ・月曜日 090 (1366) 7498
- ・火曜日 080 (2750) 0646
- ・水曜日 080 (3986) 1980
- ・木曜日 080 (3986) 1980
- ・金曜日 080 (4279) 2970
- ・土曜日・日曜日 080 (1729) 1950

一人で抱え込まずお電話下さい

※個人・年間3,600円
※団体は一部還元があるののでお問い合わせを
郵便振込先
加入者名 みんなねっと
口座番号 0013000338317
電話番号 03-6907-9211



- ・福岡県共同募金会 様
- ・寿防災工業株式会社 様
- ・株式会社福岡マツク 様
- ・福岡県精神科病院協会 様
- ・株式会社ちくしの郷匠 様
- ・エイテックス株式会社 様
- (順不同)
- ・右記団体様より
支援金を頂きました。
心より感謝申し上げます。



行事案内

- 【運営委員会】
令和3年1月28日(木)
場所…吉塚合同庁舎5F
- ※1月の研修会は延期と致します。
- 【研修会】
令和3年2月19日(金)
オンライン
- 【運営委員会】
令和3年3月4日(木)
場所…吉塚合同庁舎5F
- 【総会&理事会】
令和3年3月18日(木)
場所…吉塚合同庁舎5F
- ※新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて延期・中止の可能性がございます。

令和2年度賛助会員のみなさま

(敬称略・順不同) (令和2年12月15日)

- ・福岡あけぼの会 後援会
- ・医療法人成康会 堤小倉病院
- ・島手そうめん販売所
- ・医療法人陽山会 丸野クリニック
- ・(一社)福岡県障がい者スポーツ協会
- ・おが医院
- ・医療法人みらい 筑紫野病院
- ・医療法人信和会 大牟田保健院
- ・医療法人社団桜珠会 可也病院
- ・医療法人社団うら梅の郷会 介護老人保健施設 城山荘
- ・油山病院 家族会「あけぼの会」
- ・医療法人同仁会 乙金病院
- ・寿防災工業株式会社
- ・一般社団法人Q-FACT
- ・パナソニック松九会
- ・医療法人光風会 宗像病院
- ・エイテックス 福岡保健院
- ・おほり心療クリニック
- ・樹ちくしの郷匠
- ・(個人会員)
- ・一本 猛
- ・富松 愈
- ・廣津 輝男
- ・阿部 利民
- ・宮本 政智
- ・佐々木 寿美
- ・大平 実男
- ・松山 英人
- ・伊藤 深一
- ・井上 純治
- ・齊藤 光子
- ・鶴田 修二
- ・土肥 浩二
- ・田川 裕二
- ・立山 利博
- ・松岡 千代
- ・入江真佐子
- ・本田 俊慧
- ・樋口 靖則
- ・友清 良一
- ・小野 雄史
- ・木原 聡
- ・徳原 雅子
- ・馬場由紀子
- ・坂栗さつき
- ・石河 定子
- ・平山 一雄
- ・内原 守
- ・山本 由美
- ・田原 恭子
- ・高 忠之
- ・山崎 一伸
- ・渡邊 尋志
- ・西 寺崎 淳子
- ・仲好 光
- ・石橋 昭子
- ・富永 貴美子
- ・松本 清儀
- ・一ノ瀬 孝行
- ・井上 曉子
- ・深町 忠男
- ・君嶋 美智子
- ・川本 茂子
- ・石田 健治
- ・菅野 信男
- ・国武 千利
- ・富田 久義
- ・徳田 照二
- ・白石 雄夫
- ・宮崎 富夫



【編集】公益社団法人 福岡県精神保健福祉会連合会 〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50 6F
【発行】QSK九州障害者定期刊行物協会 〒812-0054 福岡市東区馬出2-2-18
【年会費】3,000円(購読料含む) 定価100円



この機関紙【福精連】は、共同募金の配分金によって作成されたものです。

第4回福精連大会 & よからば開設記念講演

福精連大会が10月31日(土曜日)、福岡市民会館小ホールにてコロナ対策のマスク着用、手指消毒、人員制限などを行い開催いたしました。

ご来賓挨拶では福岡県福祉労働部障がい福祉課 課長 宮崎正昭様、福岡県こころの健康づくり推進室 室長 重松隆一様、福岡市保健福祉局 精神保健福祉センター所長 本田洋子様より心よりのご挨拶を戴きました。その後表彰式に移り、福精連表彰、地域精神保健協議会表彰、県知事表彰を功績のある方々に授与されました。

(参照:1ページ下段)

基調講演は京都ノートルダム女子大学 佐藤純様による住み慣れた街で「みんな」が自分らしく暮らしていくためにとのテーマにて、アメリカン版訪問家族支援を中心とした講演がありこれからはからばが取り組んでいくアメリカン版家族支援プログラム等織り交ぜながら話が進められました。アメリカン版訪問家族支援がいかにマッチングしているかを熱く語られました。

シンポジウムのテーマとしてアウトリーチにおける家族支援、当事者の方の暮らしやすい環境をみんなでつくるにより話が進められ、コーディネーター 津田祥子(よからば)、ちはや A C T クリニック院長 渡邊真里子様、びあクリニックス 上久保真理子様、リカバリーセンター 久留米代表 磯田重行様による訪問支援とアメリカン版訪問家族支援の現状、これからの訪問支援の在り方などについて各シンポジストより制限時間一杯発表されました。



最後によからばの紹介がありました。よからばは福精連が初めて行う障がい者福祉事業です。福精連は国や県、公共交通機関等への精神障がい者の処遇改善等の申立を行って参りましたが、精神障がい福祉の理想を現実化するためには自ら事業所を行ったりとかの考えに至り今回、施設として「メルデン版訪問家族支援よからば」を開設致しました。皆様のご支援をよろしくお願いたします。

福精連理事 福田 清隆

福岡ブロック
合同スポーツ大会

福岡県の委託事業である「第24回福岡ブロック合同スポーツ大会」が11月23日(祝) 油山市民の森で開催されました。6事業所24名の参加がありました。例年ですと、球技などで交流を楽しんでいましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、三密を避けて、油山へウォーキングへ行きました。1周3.4キロのコースを2時間弱かけて歩きました。寒い日の開催となりましたが、ウォーキング後は少し汗ばむほど紅葉を見ながら運動ができました。

コロナ禍の中、来賓の福岡県スポーツ振興課の藤川様、木もれ日野澤様、すずめのお宿白石様、永田看護師さん、ボランティアの皆様の協力があり、無事終了することが出来ました。本当にありがとうございました。

よからば

松尾理恵



※今年度のスポーツ大会は残念ながら、福岡ブロックのみの開催となりました。

来年度はコロナも落ち着き盛りにしたいものです。

令和2年度 精神障がい者家族・支援者研修会に参加して

去る11月17日(火) 14時から福岡県精神保健福祉センターに於いて、家族・支援者研修会が開催され、はまゆう家族会からも7名で参加し、「アウトリーチ(訪問支援)」と重層的な支援ネットワークを活用した多面的アプローチ」と題して、認定NPO法人 スチュウデント・サポート・フェイス(S・S・F) 代表理事の谷口仁史氏が講演されました。S・S・Fとは、子供・若者育成支援推進法及び生活困窮者自立支援法に係る取り組みにおいて中核的役割を担うNPO法人だそうで、谷口氏は、佐賀県子ども・若者総合相談センター長、佐賀県ひきこもり地域支援センター長等をされており、NHKテレビ「プロフェッショナル・仕事の流儀」をはじめ、テレビや新聞等で紹介された方で、大変活躍されています。

講演は、中学生時代に仲の良い二人のクラスメイトがいじめに遇って、自分が守った話から始まりました。【写真】 大学時代の親友の死がきっかけでこの世界に入ったそうです。

多くの引きこもりの青少年に寄り添い支援されていますが、最初のアプローチが重要であり、「価値観のチャンネルを合わせる事」否定から入らないで、どんなことでも相手の価値観にチャンネルを合わせることであると述べられ、いくつかの事例を紹介されました。

釣りが好きな人には一緒に釣りを、ゲームが好きなお人には一緒にゲームを、しかも昼夜逆転の人には夜に一緒にやるなどして、人間関係を構築。ある昼夜逆転の青年は釣りが好きで、一緒に夜から釣りに行き、そのまま翌日の夕方まで釣りに没頭し、その日の夜は疲れて爆睡し、それ以後徐々に昼夜逆転が解消できたそうです。また、ある青年は自衛隊が好きで、凶器になるような物を沢山持っていて、どう価値観を合わせて良いのか難しかったので、サバイバルゲームをして人間関係をつくったことなどが紹介され、谷口氏の多彩なスキルに驚きました。

しかし、一人の力には限界があり、課題が深刻化・複合化している現状では、単一分野の専門性のみでは解決が難しいので、S・S・Fでは、教育、医療、福祉、労働、司法分野等の二十九種もの有資格者が在籍し、チームで対応されているそうです。まさに演題のごとく重層的な支援ネットワークを活用した多面的アプローチによる支援を展開されています。



「相手の価値観にチャンネルを合わせる」という言葉は、大変印象に残り、精神障がい者をもつ家族にとっても大切なことだと思えました。

福精連理事 榎橋 恭一



福精連が始めた障がい福祉サービス事業です。訪問型生活訓練と特定相談事業を行っています。通所者も大歓迎

よからば

よからば開設して早4か月経ちました。最近では、地域の皆様や、各支援機関からお声をかけていただく機会が増えてきており、少しずつではありますが地域との繋がりを築き始めていると実感しております。

さて今月の紹介は、よからばが週1回のプログラムを実地しております『WRAP(ラップ)』(元気回復行動プラン)のご紹介をします。

元気になり、元気であり続け、なりたい自分になるための、自分で作る自分のためのリカバリープランです。誰もが「自分の人生を生きていきたい」と思っています。WRAPによって、「自分を取り扱う」ことがより容易になっていくと思います。みなさんは、もし「自分」をうまく取り扱えるようになるのなら、どんな人生を望みますか？自分にとって良い感じでいられるために自分ができること...その答えは自身の中にあります。ゆっくりと身体や心に耳を澄ませ、したいこと、やりたいこと、希望など自分と向き合う時間も大事ですね。コロナ第3波がきているなか不安の渦からまだ抜け出せない状況ですが、一人一人の想いを大事に共にリカバリーの道を歩めたらと考えております。

よからばの活動にご協力ください！！

サポートを必要としている沢山の方々にサービスを届けていけるように私たちの活動にご理解、ご賛同頂ける皆様、是非いろいろなかたちで応援よろしくお願いします。応援のご寄付、活動へのボランティア参加など絶賛受付中です！！

ご寄付金頂いた方々 ありがとうございます！！

・一木猛 ・佐藤純 ・江藤智子 ・国房稔代 ・山本千鶴子
・大野 葵 ・ヒューマン21

1団体、6名

博多区竹下4丁目15-8ユニバースマンション201

TEL 092-409-3189 E-MAIL yokarabo@fukuseiren.com

ご利用に関すること、お問い合わせなど、お気軽にどうぞ！



- 6つのタイミング
- ①日常生活管理プラン
 - ②引き金
 - ③注意サイン
 - ④調子が悪くなっている時
 - ⑤クライシスプラン
 - ⑥クライシスを脱した時

この6つの視点で「今」をみていくことで、自分をうまく取り扱えるようになっていく...そんなイメージです。



「白秋秋詩」最高賞の文部科学大臣賞に福岡教育大付属久留米中学の学生さんが選ばれました。

「からっぽの箱」
耳慣れない言葉たちで溢れていた朝
当たり前の日常が遠い昔話のような奇跡
目の前には空っぽの箱
影(おびただ)しい数の
弱さや嘘に守られ築いてきた虚構は
跡形もなく消えていった
心に灯(とも)る希望の中に現れた見え
ない敵は
あらゆるものを停滞させ
手探りの長い闇に向かわせる
不安を煽(あお)り 騙(だま)し 巧
みな言葉で欺く
噂に振り回され 数に脅かされる
変わりゆくもの 変わらないもの
忘れてはいないだろうか
空の青 海の群青
木々の緑 夕焼けの茜(あかね)
日々は彩られ輝いていたことを
降りしきる雨で荒(すさ)んだ感情を洗
おう
平坦でない毎日に涙があふれても
天を仰ぎ 目を凝らし
静かに覚悟をして一歩を踏み出す
耳慣れない言葉たちが日常となった朝
目の前には空っぽの箱
見えない希望や理想を敷き詰め
新しい軌跡を残していく
道なき道をさまよっているように
真実の上を歩き始めた
未来はこの手でつくっていくんだ